

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

F P

税務会計

BRICs市民のお金の使い道は？ ブラジル・ロシア・インド・中国

急成長するBRICs(ブラジル・ロシア・インド・中国)で、各国市民のお金への考え方や消費性向、生活態度などを調べた博報堂の調査によると、各国の大都市に住む人たちにはそれぞれのお国事情や金銭感覚が見えて興味深い。BRICsに共通している「お金をかけてもいい」と考えている最新の関心事はスマートフォンなどへの「通信費」。BRICsでは「食・衣」に並ぶ存在感という。特にブラジル(サンパウロ)の都市生活者にはウェートが高く、まだまだ続く「憧れ消費」という。ロシア(モスクワ)市民も通信費にはお金を惜しまず、「社交&エンジョイ消費」と生活を楽しむ余裕が見える。一方、インド(デリー)は家庭食や外食など「食」への強い欲求が通信費と並ぶ。最近、ショッピングモールの普及で各国料理が食べられるなど、食のバリエーションを楽しんでいる。

中国(北京)市民には生活の安定感がにじみ出てきて消費行動には「身の丈消費」といえる堅実さが垣間見える。各国同様、通信費の比率は高いが、家や車にお金をかけるより、趣味と貯金がベスト10に入るという生活態度には意外性を感じる日本人も多かろう。

インドは貯金より選択肢の広がった消費財に目が行く。ブラジル、ロシアも大型消費が続くが、ともにかつて金融危機を味わい貨幣を信用しない。かつては数多の発展途上国のひとつに過ぎなかったBRICs。今や彼らの生活態度は世界経済に影響を与えるようになった。

所得税調査で9,601億円の申告漏れ 約14%の实地調査で6割強を把握

国税庁がまとめた2010事務年度の個人事業者に対する所得税調査状況によると、今年6月までの1年間の所得税調査は、前年度に比べ0.6%減の69万4千件にとどまったが、うち65.7%に当たる45万6千件から9,601億円の申告漏れ所得を見つけた。追徴税額は1,239億円。1件あたり平均138万円の申告漏れに対し18万円を追徴した。

实地調査での特別調査・一般調査(高額・悪質な不正計算が見込まれるものを対象に行う深度ある調査)は5万7千件、うち86.0%にあたる4万9千件から総額5,036億円の申告漏れ所得を見つけ、929億円を追徴。件数では全体の8.2%に過ぎないが、申告漏れ所得全体の5割強を占めた。調査1件あたりの申告漏れは879万円と全体の平均138万円を大きく上回る。

また、实地調査に含まれる着眼調査(資料情報や事業実態の解明を通じて行う短期間の調査)は、調査件数全体の5.3%の3万7千件行われ、うち2万7千件から977億円の申告漏れを見つけ、66億円を追徴した。1件あたり平均申告漏れは261万円。一方、簡易な接触は、59万9千件行われ、うち38万件から3,588億円の申告漏れを見つけ245億円を追徴。1件あたりの平均申告漏れは60万円だった。

このように、实地調査では、全体の約14%の調査件数で申告漏れ所得全体の6割強を把握しており、高額・悪質な事案を優先して深度ある調査を的確に実施する一方、短期間で申告漏れ所得等の把握を行う効率的・効果的な所得税調査が実施されている。

今週のキーワード

BRICs

21世紀に主要国となる新興大型発展国としてブラジル・ロシア・インド・中国の4カ国を指す。小文字のsは当初は複数国の意味だったが、今年、4カ国会議に南アフリカ共和国が加わり、5カ国となりsは大文字となった。各国に共通するのは規模の大きさと、国土面積、人口、天然資源等で世界屈指。世界経済に占める4カ国のGDPの割合を購買力換算すると24%と高い。

※配信先の変更、配信停止のご希望はお手数ですが Tel.03-3216-2004 または info@knowsi-land.jp までご連絡ください。